

活用場面

C1・C4

話合いの学習において、思考ツールを活用して複数の提案を可視化し、情報を整理しながら検討する

活用したソフトや機能：思考ツール、画面共有機能

学 年：中学校第3学年 教科：国語

単 元 名：合意形成に向けて話し合おう

○ 本時について(3/5)


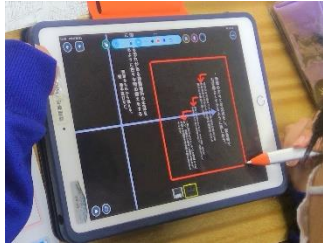
(1)ねらい

・課題解決に向けた話し合い活動を通して、様々な意見から共通点を見出したり、新たなものの見方や考え方を導き出したりして、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(2)評価規準

・様々な意見から共通点を見出したり、新たなものの見方や考え方を導き出したりして、自分の考えを広げたり深めたりしている。【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 本時の課題と議題を確認する。 「よりよい提案」に向けてグループで話し合い、合意形成しよう。 議題：巨大地震が起きたとき、一人でも多くの命を守るために、私たちが事前にできることは何だろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツール(座標軸)を活用して、「実現性」と「効果」の2つの観点から複数の提案を比較し、情報を整理しながら検討する。</li> </ul> 
	2 前時のブレインストーミングで出た3つの有力な案の利点や問題点等を踏まえ、思考ツール(座標軸)のどこにそれぞれの案を位置付けるか、グループで討議を行う。 ・「地域の方との交流」という案は、実現性は高いと思うけど、効果を高めるにはどうしたらよいらろう。	
展開	3 必要に応じて、自分たちの考えた案の実現性等について、オンラインで地域講師に質問したり確認したりする。 ・私たちは「地域の方との交流」という案を考えていますが、効果を高めるためにどんなことができるでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援ツールの共有ノートの機能を活用し、話し合いの過程で出てきた考えを、記録係の生徒がメモして、リアルタイムで共有する。</li> </ul> 
	4 議題に立ち返り、グループとしての結論を出す。 ・地域の方と中学生で合同避難訓練を行う。訓練がスムーズにできるように、「事前にできること」として普段から地域の行事などに参加し、地域の方とつながりをつくる。	
	5 本時を振り返る。 座標軸を使って「実現性」と「効果」の2つの観点で案を絞り込むことができた。オンラインで地域の方から助言をいただき、より実現性の高い案にすることができた。	
終末		

活用の際のワンポイント！

■ 複数の提案を比較・検討する話し合いの際は、思考ツール等を活用して情報と情報との関係を可視化して整理したり、共有ノートを活用して情報を共有したりすることができます。